

同じ立場で

秋の深まりとともに木々の葉が色づき、ハラハラと地面に舞い落ちる季節となりました。その光景を見ながら、人の命のはかなさに思いを馳せる方もいらっしゃるのではないでしょうか？

私たち僧侶は、普段お檀家様の大切なご家族の通夜・葬儀を務めさせていただいております。「どのような思いで通夜・葬儀を行っているのですか？」と問われた際、「ご遺族の立場に立ち、そのお悲しみが軽くなり、少しでも早く乗り越えられるようにとの思いで心を込めて行っています」と私は自信をもって答えていました。

そのような中、つい先日伯父が亡くなり、私自身が葬儀を務めさせていただきました。いつもであれば、どなたかの通夜・葬儀を務め終えると、すぐに気持ちを切り替えられるのですが、身内であるその伯父については、今も悲しみと大きな喪失感が続いています。いざ遺族という当事者になってみればじめて体験できる心境や立場があることに、今さらながら気づかされました。

道元禪師がお書きになった『正法眼蔵菩提薩埵四摂法』の中に、「同事」の教えがあります。「相手とのくい違いのないよう、相手の立場になり、相手の気持ちに寄り添う」という生き方をお示しです。私はその教えを知ってはいましたが、こと通夜・葬儀については相手の立場に十分立って行えていなかったことを、伯父自身に亡くなることにより、私に教えてくれたように思うのです。

とはいえ、常に、しかも完璧に相手の立場に立って生きることが無理と言わざるを得ません。仏典研究によると、同事とは観世

行事報告

「あなたと大切な人の命を守るための 災害を乗り越える地域のチカラ 大畑防災学習会」

去る十一月十七日（日）、大安寺大広間を会場にNPO法人青森県防災士会むつ支部の主催、県内各団体の共催により開催されました。会場には約百名の皆さんが詰めかけられ、二時間半の学習会に熱心に参加しておられました。

第一部では、青森公立大学経営経済学部地域みらい学科准教授の野坂真氏より、東日本大震災にて多くの役場職員・地域住民が亡くなった岩手県大槌町における地域防災の取組について紹介いただき、「防災は地域づくり」であり、地区防災計画は地域住民が主体となってオーダーメイドでつくるべきであることを御紹介

あなたと大切な人の命を守るための
災害を乗り越える地域のチカラ

大畑防災学習会

令和6年 11月17日（日）
13:30～16:00

むつ市大畑地区は、日本海溝・千島海溝を震源とする巨大地震による大畑津波が襲来され、命を守るためには自らいちはやく避難行動を起こさなくてはなりません。いざという時に、一人ひとりが迅速な避難行動をとれるように、今から自分事として考えることが大切です。また、災害を乗り越えるためには自分だけでなく、共助のチカラも大切です。そこで本学習会では東日本大震災を経験した方の体験談を聴きながら大畑津波をイメージし、また地域で活動する団体の皆さん同士が学び合う機会をつくります。

場所 曹洞宗 円祥山 大安寺（むつ市指定避難所）
むつ市大畑町本町 80 番地

定員 100名※（要申込/定員になり次第〆切）

参加費 無料 参加対象 中学生以上

13:00～13:30 受付

13:30～14:20
第1部「東日本大震災で被災した経験語る」
倉堀 康 氏（岩手県大槌町 大槌語り継ぐ会代表）
※オンライン・野坂真氏との対談形式

14:20～15:00
第2部 講演
「住民による地域防災活動で本当に大切なことは
一大畑町安楽地区での13年のにわたる活動から」
野坂 真 氏（対談形式）

15:10～15:50
第3部 参加団体からの防災活動発表・感想のシェア・野坂氏
からのコメント

16:00 閉会

【講演・コメンテーター】
野坂 真 氏
（青森公立大学経営経済学部
地域みらい学科准教授）

【主催】NPO 法人青森県防災士会むつ支部
【共催】
自治体連合会青森県社会福祉士会/イカサ大畑カナル部/大畑町観光協会/大畑町商工会/大畑町農工
会/大畑町商工会青年部/大畑町町内会連合会/大畑町りげん/高瀬ロデオ大畑/下北地区子ども
育成委員会/むつ市大畑ロータリー-親睦クラブ/むつ市消防団大畑分団/むつ市大畑地区自主防災組織
（新町/中津/美沢/小畑名-東郷川）/むつ市大畑分団分団十字社/むつ市社会福祉協議会
/一般社団法人むつ市青年会連盟/むつ市ライオンズクラブ/むつ市老人クラブ連合会大畑支部

【後援】むつ市
【申込先】電話：事務局 080-2042-8337(長崎) FAX：0175-34-6426

参加希望の方は上記申込先電話・FAX・お申込フォーム
よりお申込みください。FAXでお申込みの方は「お名前」
「所属団体名」「お電話番号」をご連絡ください。

音菩薩の姿であるとも言われています。そんな観世音菩薩を手本にしなが、及ばずながら、同事を实践していきたい、私はそう思っています。

『令和七年曹洞宗宝曆』配布について

令和七年一年間の曆に、こころ休まるイラストと役立つレシピを掲載し、その他、坐禅のすすめ、おてらの行事、毎日のおつとめなどを掲載しています。お手元にあると便利な一冊です。事務室にて無料配布しております。ご希望の方はお声がけください。



『大般若祈祷札』頒布について

一月一日の元朝大般若祈祷にて祈祷した御札です。心願成就、開運招福、万難消滅、家門繁栄、息災延命、諸病悉除の御利益があるとされます。町内にお住まいの方には年始より役員の皆さんにお届けいただき、町外の方には郵便で直接お送りいたします。届きましたらお仏壇に安置するか、玄関先の柱などにお貼りください。



いただきました。第二部では、東日本大震災で両親と兄を亡くし、避難所でのリーダーを経験し、現在は大槌語り継ぐ会の代表を務めている倉堀康氏により震災当時の実体験と現在の活動について御紹介いただきました。第三部では、参加した各団体から、地域防災に関する事例を御紹介いただきました。この学習会を契機に更に地域防災力が高まっていくことを願っています。



野坂氏からは大槌町での貴重な事例を熱心にご教示いただきました。



倉堀氏にはオンラインでご出演いただき、当事者ならではのお話をさせていただきました。



NPO 法人青森県防災士会むつ支部長・峯雅夫氏からの趣旨説明・挨拶。



廊下ではむつ支部の活動紹介パネルが展示され、来場者が関心をもって見ていました。

※NPO 法人青森県防災士会むつ支部 facebook ページより転載